

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

ハートフル・ワード (心からの言葉)

経営者への活きた言葉

第 3 の流通・年商 3500 億円「道の駅」(その 1)

1. 全国に 1000 カ所もの店舗を抱え、来訪者数は年間延べ 5 億人以上。地方都市に大型 S C (ショッピングセンター) を設けるイオンや、国内には約 1 万 5000 もの店舗を構える「セブンイレブン」さえも立地しないような過疎地への出店がほとんどながら合計 3500 億円もの売上高を誇る流通業がある。その名は「道の駅」。過疎地の「希望の星」は、観光客はともより、近郊の住民すら通り過ぎていた場所で、地域の産業活性化の役割を担う。
2. 道の駅が出店してきたのは、百貨店はもちろん、食品スーパーや外食チェーン、コンビニも商圈と見なしていなかった地域が大半だ。東京、大阪、神奈川には合計 11 カ所しかなく、全体の 1% に過ぎない。最多の北海道に続くのは、岐阜県、長野県、新潟県だ。県庁所在地や政令都市指定にも駅の数は少ない。大企業が採算が合わないと避ける商圈で、道の駅はしっかりと根を張ってきた。
3. 道の駅では近隣の農家や漁師、食品加工業者らが商品を持ち込み、駅や施設に委託して販売する仕組みが一般的だ。売値を生産者が決めて、十数%を手数料として駅の運営会社に支払う。卸や商社を介さず、物流費もあまりかからない。クルマで乗りつけやすい休憩施設や「地産地消」を標榜する直売所と一体となった時、地域や生産者たちにもたらした経済波及効果は絶大である。

(参考：日経ビジネス) 2013 年 4 月 22 日号)

経営者のための社会学

日本社会全体に満足 (53.4%)

1. 現在の日本社会全体について、満足している人が 53.4% (「満足」と「やや満足」の合計) いることがわかった。内閣府が全国 20 歳以上の日本国籍を有する 1 万人を対象に 2013 年 1 月～2 月に実施した「社会意識に関する世論調査」による。「満足していない」は「あまり」と合わせて 46.1%。2012 年実施の前回調査では、満足 44.4%、満足していない 54.9% だったのが逆転した。
2. だが、社会全体の満足度については世代による差が大きい。70 歳以上は 64.8%、60 代は 55.1% 満足しているのに対し、20 代、40 代、50 代は満足していない人が半数を上回っている。理由は、「経済的なゆとりや見通しが持てない」が 41.7%、「若者が社会での自立を目指しにくい」が 40.0% で、若年層や現役世代にとって生活面で切実な問題の比率が高い。

(参考：「週刊東洋経済」：2013 年 5 月 11 日号)

経営者のための危機管理

中小の休廃業・解散が増加

1. 帝国データバンクの 2012 年度「全国休廃業・解散動向調査」によれば、件数は 2 万 6050 件と 4 年ぶりに前年度を上回った。企業活動停止が確認された企業のなかで倒産の定義に当てはまらないものが休廃業・解散。債務超過等で倒産という措置を取らないまでも、先行きの見通しが立たず事業継続を断念する企業が増加している。中小企業金融円滑化法の効果で倒産は 2009～2012 年まで 4 年連続で減少したが、中小企業の経営環境は改善されていない。
2. 休廃業、解散に至った企業の割合が最も大きかった都道府県は福井県。2 位が岩手県、3 位が山梨県だった。福井県の地場産業といえば、繊維産業と眼鏡。中国からの安価な製品の流入等で衰退が止まらない。加えて、福井は原発停止状態が続いていることで、派生工事の減少、作業員を対象にした飲食、宿泊業にも影響が及んでいる。

(参考：「週刊エコノミスト」2013 年 6 月 11 日号)

古典に学ぶ

わが身を貴べ

(解説) 人々は、栄誉を得ては胸を騒がせ、恥辱を負うては、胸を騒がせる。栄辱を人生最大の関心事と心得ること、あたかも自分自身と取り違えているかの観がある。なぜ栄誉を得ては胸を騒がせ、恥辱を負うては胸を騒がせるのか。栄誉をよしとし、恥辱を悪しとする一面的な考えにとらわれているからである。だからこれを得ても胸を騒がせ、失っても胸を騒がせ、不安のおさまるときがない。自身あつての栄辱なら、自身を大切にすることこそ本筋ではないか。自身を大切にすることは、物事の本末をわきまえた人である。

(参考：奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」：徳間書店)